

# YAMATO INTERNATIONAL INC. 4Q 2024 Fact Sheet

【会社名】 ヤマト インターナショナル株式会社 【代表者】 取締役社長 盤若 智基  
 【設立】 1947年6月16日 【本社所在地】 <大阪本社>〒577-0061 大阪府東大阪市森河内西1丁目3番1号  
 【資本金】 49億17百万円 <東京本社>〒143-0006 東京都大田区平和島5丁目1番1号  
 【上場】 東証スタンダード 証券コード8127 【決算月】 8月

## OVERVIEW

中期ビジョン「Yamato 2026～シン・ブランド創り～」は既顧客の活性化を大前提としながらも10年後を視野に次の世代の潜在顧客獲得により比重を置いた経営方針。

初年度となる24年8月期は、主要分野①収益率を高める分野(GMS)②売上を伸ばさせる分野(EC/CITERA)③将来の成長基盤を確立する分野(直営)の課題達成を目指しスタート。

メインラインによる既顧客の活性化を図るとともに、成長著しいストラテジックラインやレディス分野に注力することで潜在顧客を取り込む。好調に推移するEC・直営事業の更なる強化を図り、今後ともクロコダイルグループ全体で中長期的なブランド価値拡大に努める。

結果は前年計上していた助成金の剥落があり増収減益となるも、当期純利益は公表値達成。期末+4円増配し年間配当金16円を予定。

## 連結 PL

	2023/8	2024/8	2025/8 (計画)
売上高	20,801	21,139	22,000
営業利益	302	262	400
<売上比>	1.5%	1.2%	1.8%
経常利益	588	385	500
<売上比>	2.8%	1.8%	2.3%
当期純利益	563	352	385
<売上比>	2.7%	1.7%	1.8%

## 配当金

	2023/8	2024/8 (予定)	2025/8 (予定)
配当	12円 中間0円/期末12円	16円※ 中間6円/期末10円	16円 中間6円/期末10円

※2024年4月12日「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」を公表

## BS

	2023/8	2024/8
流動資産	10,515	10,981
現預金+有価証券	7,217	7,455
固定資産	11,961	13,025
有形固定資産	6,568	6,763
無形固定資産	18	10
資産合計	22,476	24,007
流動負債	4,358	5,368
固定負債	1,318	1,290
負債合計	5,677	6,658
純資産合計	16,798	17,348
負債・純資産合計	22,476	24,007

YAMATO 不変のミッション

「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」



- 「もの創り」とは…… 顧客起点で時代のライフスタイルに相応しい価値を考え、スタイル重視でものを創る/一つの商品を極める
- 「人創り(社員)」とは…… 良い服を作るために 社員という人を創る = 社員一人一人が必要な能力やスキルを習得し成長する
- 「人創り(お客様)」とは…… お客様が求める価値を知り、お客様に愛用・信頼され、お客様という人を創る

「シン・ブランド創り」

いつの時代でも どのような環境下でも  
 お客様の不満や問題を解決し  
 求められるものを提供し  
 最初に想起される  
 真のブランドを創る

2024～中期ビジョン「Yamato 2026」10年後を視野に 次世代の潜在顧客獲得 に比重を置いた戦略を実践

### ①収益率を高める分野(GMS)

#### クロコダイルグループ

#### メインライン



既顧客の活性化

クロコダイル  
メンズ・レディス

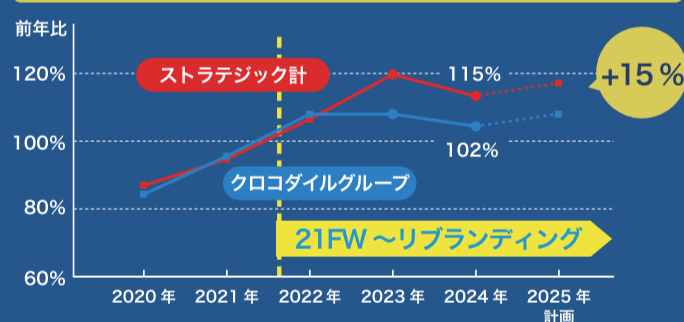
#### ストラテジックライン



潜在顧客獲得に特化

デザイン性トレンド性を重視  
 クロコダイル コード スウィッチモーション  
 「もの創り」を最も重視  
 クロコダイル

#### 両ブランド共に2ケタ増で伸長



独立型コーナーの出店を計画

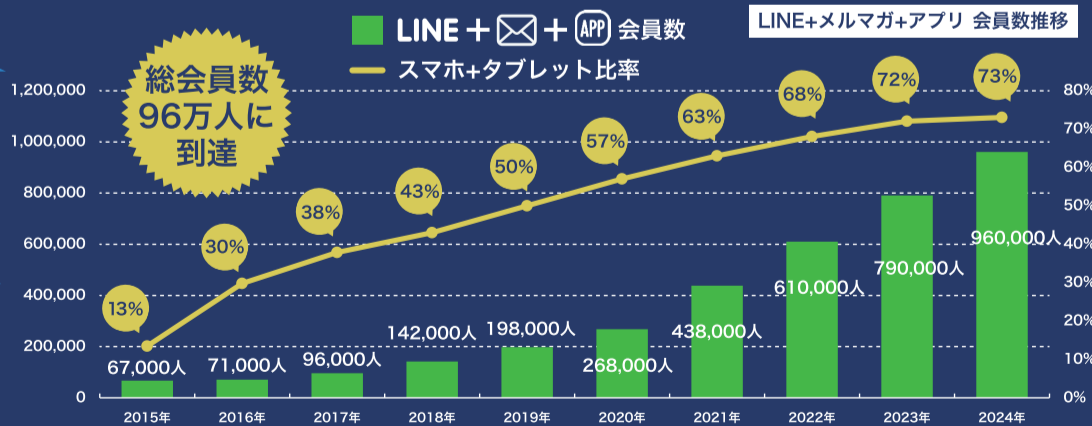
小型バージョンの導入による  
売場面積の拡張

中長期的な  
ブランド価値の  
拡大に繋げる

### ②売上を伸ばさせる分野(EC/CITERA)

全体  
+14%

クロコダイル  
+15%



### ③将来の成長基盤を確立する分野(直営)

直営事業は  
通期計画を  
達成

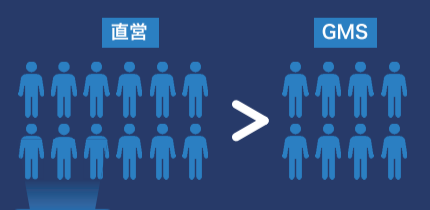
既存店  
+9%増

売上  
+20%増



直営事業はGMSに比べ  
売上に占める

レディス  
ストラテジックライン  
の構成比が高い



これらの分野に注力し、顧客層の若返りを推し進める

企業価値・ブランド価値・提供価値の中長期的な「価値拡大」を目指す

## ESGに関する取り組み

ESGに関する活動を推進する  
「Yamato 未来創造 プロジェクト」



環境に配慮した「もの創り」を関連部署と協働し推進

目標 2030年時点で環境配慮型素材を使用した商品の割合を50%にする

ウガンダオーガニックコットン  
商品開発・販売



安定的にウガンダコットンを使用・拡大することで  
ウガンダの産業支援や雇用創出に寄与

Project sustainability



今期は不要になり回収した商品から得た糸で  
タオルハンカチを製作し、店頭でお客様へ提供